

船橋出張所地区防災訓練について

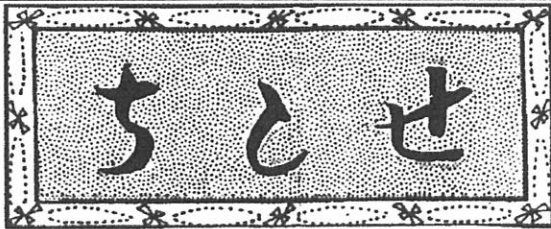
去る10月14日の日曜日に船橋出張所地区防災訓練が行われた。当日は天気に恵まれ、快晴で絶好の訓練日和だった。訓練概要は当日の午前8時45分に、区部直下を震源とする地震が発生した、と想定して訓練が始まった。まず、各家庭で火気点検や家族の安否を確認した上で、一時集合場所に集合し、近隣の安全確認や避難路等を確認。その後、防災訓練が行われる希望丘小学校に向い、団体の代表者による参加受付訓練が行われた。

また並行して、希望丘中学校と船橋中学校の生徒と、民生・児童委員による地域在住の災害弱者宅へ出向き、安否を確認する訓練も行われた。

その後、区民防災会議の額賀会長の訓練開始宣言により、希望丘小学校での防災訓練が始まった。各町会、自治会を3つの訓練班に編成した。一つの班を140名前後で構成し、A、B、C会場にそれぞれ時間を区切り、一班あたり、一会場の訓練時間は25分で、ローテーションで行った。A会場では初期消火訓練、展示物A見学(非常食料やサバイバルグッズ等の展示)、起震車体験、はしご車体験を行った。B会場では、学校の廊下を利用して煙中避難訓練を行なったが、訓練途中で防火シャッターが降りるハプニングがあった。滅多に経験することがないせいか、貴重な体験だった、と参加者が話していた。また、実際に火事等で煙りに巻かれたら、方向感覚が分からなくなり怖いとも話していた。その後、展示物B見学(仮設トイレ、発電機、ろ水機、非常用グッズ、避難所運営用防災倉庫内の物資一覧表)があり、参加者から色々な質問があった。C会場では、三角巾による止血法等の応急救護訓練を行った。その他に簡易担架の作成法や運搬法の担架取り扱い訓練、区からの配布物品の仕分け・配布の物資配分訓練が行われ、参加者が真剣な表情で取り組んでいた。

最後は、消防団や防災区民組織による一斉放水で訓練は終了した。今回の訓練は、各町会・自治会委員が事前に防災訓練の練習をして、当日の訓練では、指導的立場で進行を図る等、より住民主体の訓練を目指して行われた。

今後、この訓練を通し区民の防災意識が更に向上し、実際に不幸にして地震等が起きた場合でも、訓練が生かされれば幸である。



発行：ミニコミ  
編集：編集委員会  
責任者：荻原和恵  
事務局：船橋出張所  
☎3482-0341  
2001. 12. NO62号



住み慣れた地域で  
安心して  
暮らせるために

町会・自治会の紹介

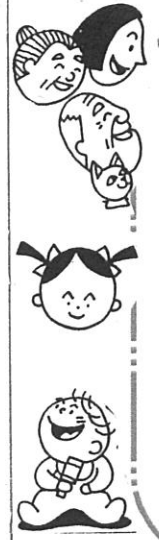
【新しいまち・フレール西経堂】

フレール西経堂(旧西経堂団地)は、昭和三十四年一月に入居、当時六六〇戸の集合住宅で、すぐ自治会が結成され、私立保育園の設立など多彩な活動をしまいにしました。居住者の結びつきも深く、多くの子供達が西経堂を「ふるさと」として育ち巣立っていきました。周辺の子供達も前記保育園に団地の子と一緒に通園し、小学校も同じで子供だけでなく親同士も仲良く交流していました。遊び場もあり、緑濃く、終日賑やかな団地でした。

平成三年、建て替え事業が開始され、思い出の詰まった建物、樹木が次々と消えました。「住み手にとつての建て替え」と全国でも初めての住民の気持ちが生かされた建物、住戸が建ち出し、平成八年から十年にかけて新しい「まち」フレール西経堂に戻り入居しました。まだまだ工夫をこらした建物、住戸が建設されます。新居住者も住み始めました。八月二十五日夕方から新旧居住者の親睦交流の夕涼み会を開催しました。集会所の前庭で、炭火をおこし秋刀魚の塩焼き、焼きとうもろこしに冷えたビール、子供達は綿菓子をおぼり、花火に興じ、ボールすくいに大騒ぎ、とても楽しい時間を共有しました。

新しく入居された方達に、自治会活動を理解して頂き、これからの地域行事、地区防災訓練、船橋ふれあいまつりに共に参加したいと思っています。そして以前の西経堂団地であったときのように、子供達の声の溢れる「まち」高齢者が安心して暮らせる「まち」をみんなで築いていきたいと願っています。

フレール西経堂自治会会長 駒井澄子



【千歳台廻沢村の今昔】

北多摩郡千歳村廻沢、先土器縄文時代と見られる廻沢北遺跡が発掘され、その集落があった昔の廻沢、私達の生まれ育った廻沢の町が行政上の便利主義、また合理化と言う名のもとに町名が変更になってしまった。地名とは歴史上大切な一部分であり、郷土の貴重な財産である事を考える時に、本当に残念な事と思うものである。しかしながら、今世代「千歳台」となり、今では何事もなかったかの様に昔と変わらぬ温かい気配り心遣いが身にしみてありがたく思う。

古きに想いを寄せて、また新しさに想いを寄せる昨今、家の窓越しに見えた一面の畑が今ではビル、マンションと様変わりする千歳台廻沢の町に、変わらぬ人々のふれ合いを感じる当町会も、会員皆様のご協力ご指導により多種多様な町会活動が出来るようになりました。年間事業活動計画に基づき、行事等も町会役員、また一般会員の皆様、中でも若い世代の青壮年会員の方々の協力による「廻沢花まつり」また「一日バス旅行」夏期事業の一環として町内全般の十日間にわたる「ラジオ体操」も早十年を迎える事となりました。しかしながら、これらの取決める等の集会所もなく、稲荷神社の社務所での会合であります。この町に地区会館の建設の声が上り、色々問題もありましたが、昔から言う「何事も苦節十年」ようやく関係各位皆様方のご努力により、平成十四年四月完成のはこびとなり感謝にたえません。

昨今、当町会も地域環境も大きく変化して参りました。その時々々の問題点をみつめて、明るい住み良いまちづくり而努力して参ります。より良いまちづくりとは様々な形で町内の色々な活動行事に一人でも多く参加して頂くことです。今後共に、ご指導ご協力の程、切にお願い申し上げます。

千歳台廻沢町会会長 一杉武治



「日赤船橋出張所分団」からの報告

○地区防災訓練(10月14日)には、日赤奉仕団として「三角巾」による応急救護(止血法、怪我の手当)のお手使いをさせて頂きました。

○船橋ふれあいまつり(11月3日)には、皆様からのご寄付を頂き「フリーマーケット」に参加させていただきました。ご協力ありがとうございました。売り上げの一部は、地区に何か還元したいと考えて居ります。

国内に又世界的援助に赤十字の重要性が高まっています。益々のご協力よろしくお願いたします。

ふれあいまつりの報告

今年度ミニコミ編集委員はふれあいまつりに広報部として参加し、PRのチラシ作成や当日の記録としてスナップ写真撮影やインタビューなどを行いました。インタビューの中で、ウルトラマンの姿がなくてとの声が多く聞かれましたが、騎馬隊の馬に乗ることができたり、お雛子の体験ができたりと、たくさん催し物があり、子ども達はとても嬉しそうでした。なんとかお天気もち大盛況のうちに終わりました。





# おめでとう創立20周年

今年、希望丘中学校が創立20周年を迎えました。当時の思い出を卒業生に聞いてみました。



できたばかりの新しい学校で、最初1ヶ月くらいはみんな私服で通っていました。制服ができたときは、今どきの制服で嬉しかったです。当時、合唱コンクールにものごく燃えていて、女子が泣いてしまうくらい盛り上がっていました。 2期生

なつかしいなあ。屋上のプールは当時とても珍しかったので、世田谷で一番新しい中学ということと共に自慢のひとつでした。ながめも良かったしね。20周年祝賀会に出席された先生より

何と言っても、体育の授業です。短距離、マラソンは勿論、バレーボールやバスケットボールもなぜか陸上競技と化していました。1週間が体育の授業中心にまわる位ツラかったけど、だからこそとても良い思い出だし、「糧」となっている気がします。 5期生

体育祭が楽しい思い出です。1年～3年までクラスが、たてに同じカラーとなって勝ち負けがあったり、全員リレーなど小学校とは違った楽しさがありました。クラスで力を合わせた合唱コンも心に残っています。 7期生



回廊を二十周走られた忌まわしい記憶。でも、あの疲労感が嬉しい年頃だった。希望中はとても小さな世界だった。世界が広いこと、今、実感しています。 15期生



## 暮らしのヒント

～晩秋の午後はラベンダーティーで～  
薄むらさき色の花からさわやかな香りが立ち上るラベンダー。庭先に植えて、その色と香りを楽しむ方も増えています。このラベンダーでハーブティーを手作りしてみませんか？

《 作り方 》 ……簡単です……

2～3本のラベンダーを陰干しにしてハサミでぎざみ、市販の紅茶に3～5%位まででできあがり。いつものように紅茶を入れて、花の季節ならカップの中にパールの花びらを散らして召し上がれ。

編集後記

ます一切えごま  
古大高すまミさてぎつ地  
我川橋。すニを交いり区  
愛コあ流まで防  
塩阿荻 さみらすしは災  
野久原 れちたるた 訓  
津 るとめこ。ご練  
波 宇 こせてと立協・  
多 野 ど一実で場力船  
野 石田 をが感`やあ橋  
井川 願皆し地年りふ  
濱佐 っ様ま域齡がれ  
中藤 てにしのをとあ  
いまた大越うい

# 地域めぐり

世田谷区立 知的障害者就労支援センター

平成10年4月開設の「すきっぷ」は、18歳以上の知的障害のある方の就労を応援しているところです。クリーニング作業、印刷作業、その他 調理実習、テーマにそった話し合いや音楽を通したコミュニケーションの体験など、より豊かな社会生活が送れるよう様々な訓練をしています。



☆施設長の白井さん、副施設長の宮武さんにお話を伺い、施設を案内していただきました。

・一階にあるクリーニング作業室では、三ヶ所の特別養護老人ホームから搬入されるシーツを大型洗濯機で次々と洗い、すすぎ、脱水し、二人一組の共同作業でシーツをローラー乾燥機に手際よく差し込んでいきます。「二人ペアで呼吸を合わせて作業する技術などを習得してもらっています」と宮武さんのお話です。  
みるみるうちに、ピンと張ったシーツが折り目正しく次々と出来上がり、次にこれを重ねて積み上げ、皺の全くない大型シーツの山が共同作業で築かれていくのを見ると、見事とはこのことを言うのだろうと思いました。



・印刷作業室は地下にあります。地下といっても前面に大きな中庭があり、採光と空間があって明るいです。印刷類の品質管理は注意深い取り組みと正確な作業が要求されるため、職員の方の援助のもと、みんなと一緒に手作業の実習訓練中でした。



すきっぷのテーマソング  
**赤茶へすきっぷ**  
あなたと私は 違うけれど  
よろこびも かなしみも  
分かち合える  
さよならしても また会える  
きつと昔のまま  
すきっぷしよう 未来へ…

・通所者は現在33名。10名の方は外で職場実習中、これまでに職業人として技能や生活習慣を身につけて事業所へ47名の方が就労しているそうです。

☆施設長 白井さんからのお願い  
福祉は年々よくなっていますが、まだまだ受け皿が足りません。知的障害のある方は安定した人間関係の中では力を発揮します。知的障害者をわかっていただいて、地域ぐるみで支えるシステムがほしいです。世田谷区内で体験実習や雇用をして頂ける場所がありましたら是非お知らせください。  
また、毎年9月第2土曜日に「秋まつり」が開催されます。模擬店、バザー、ゲーム等がありますので、地域の皆様のご参加をお待ちしています。

☆名刺や名入り封筒の印刷を注文(100枚～)出来るそうです。「地域の皆様を歓迎します」とのことですので、是非、気軽に訪ねてみて下さい。

問い合わせ先 世田谷区立すきっぷ  
世田谷区船橋 5-33-1  
TEL.3302-7911